

ほ におい 穂 香 タイムス <10月号>

「ニ・ホ・ロ」周辺も、すっかり「秋」の風景になってきました。

10月2日には、「ニ・ホ・ロ」隣のイベント広場で「第27回根室産業フェスティバル」が開催され、多くの市民が秋の味覚を楽しみました。

「ニ・ホ・ロ」にも多くの子供たちが来館し、妖精探しなどのクイズやぬり絵などを楽しんでくれました。



会場は秋の味覚を堪能する人であられました。



ニ・ホ・ロでは、小さなお子様でも、「ぬり絵」や各種クイズなどで楽しめます。



北方四島交流センター

ニ・ホ・ロの最近の出来事

「平成23年度 第2回ロシア料理講座」を開催します。



本年度第2回目となる「ロシア料理講座」を10月16日(日)10:00~正午の日程で開催します。今回のメニューは、「ラブシャー、そばのカーシャ、ポジャルカ(肉の煮込み)、ロシア風コンポート、バランキ(焼き菓子)」です。

根室市内在住のロシア語講師のベキョリズナ先生を講師に迎え開催します。

「平成23年度 初級ロシア語講座 受講者募集中！」



「初級ロシア語講座」を開催します。初心者を対象に日常会話を中心とした内容です。開催日程は11月5日(土)~11月27日(日)の期間中毎週土日 全8回です。時間は午前10:00~正午の2時間となっています。講師は、北方四島交流センター職員が担当します。申し込みはニ・ホ・ロまで。定員は30名です。

挑戦してみよう。「ねむろ わんぱく チャレンジ」

「ねむろ わんぱく チャレンジ!」
スタンプラリーに参加しよう!

★参加対象 ⇒ 小学校4年生・5年生・6年生
★期 間 ⇒ 平成23年10月~平成24年3月まで
★内 容 ⇒ 指定された行事(スポーツ・文化活動等)に参加してスタンプを集める

「ねむろわんぱくチャレンジってなに?」
青少年センター・図書館・温水プール・公民館・ネイチャーセンター・ニホロなどで行われる行事に参加し、色々なことを体験しよう!

チャレンジの参加は、スタンプカードをもらって参加となります。
10月から行われる行事に参加してスタンプカードをもらってください。

どうやって参加するの?
スタンプカード

10個のスタンプを集めると
ねむろわんぱくチャレンジ賞
として表彰します

主 催： 根室市教育委員会 社会教育課 根室市文化会館内
問い合わせ： 根室市庁舎1-40 ☎24-3180 FaX23-6172

根室市教育委員会が主催する「ねむろ わんぱくチャレンジ」が10月からはじまりました。主に、社会教育関係の施設や事業を、スタンプラリー形式で体験しようというもので、小学生4・5・6年生が対象です。ニ・ホ・ロも対象施設になっており、見学するとスタンプ1個がもらえます。ニ・ホ・ロでは、「妖精さがし」や「北方領土クイズ」なども行っておりますので、この機会にぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか?



「北方領土写真展」開催中！ 10月31日まで

千島歯舞諸島居住者連盟根室支部青年部が主催する「北方領土写真展」を「二・ホ・ロ」ロビーにて開催中です。

昨年のビザなし交流（訪問）時の写真32点で、最近の北方領土の様子を紹介しています。

また、同青年部で作成した四島の模型を併せて展示しています。この機会に是非ご覧ください。



「2011平和行動 in 根室」が開催されました。(H23. 9. 10)

連合が主催する「2011平和行動 in 根室」が根室市内で行われ、二・ホ・ロでは「北方四島学習会」が開催されました。第1セミナーから第5セミナーまでの会場はどれも満席で、元島民の講話や、四島の現状、ビザなし交流の状況など、各講師からの話にどの会場も熱気にあふれていました。



北方四島からのビザなし生態系専門家訪問団講演会が開催されました。

(H23. 10. 10)

ビザなしの生態系専門家交流実施に伴い、四島側からの訪問団による講演会が二・ホ・ロ交流ホールで開催され、「国後島自然保護区所長 V.C.ボイコ」氏と「紗那営林署長 A.N.カラブリョーフ」氏が講演しました。両氏は各島における自然保護区の状況やその活動を説明するとともに、今後のさらなる研究の必要性を訴え、日本の研究者へ協力をよびかけました。



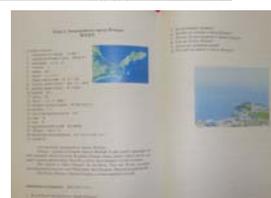
来館者ニュース

札幌大学外国語学部の皆さん（H23. 9. 9）

札幌大学外国語学部を中心とした「ロシア語合宿 in 根室」が根室市内の「夢原館」を中心に行われ、日程3日目の9月9日に二・ホ・ロを見学しました。

7月のピザなし交流青少年受入の際にも、同ロシア語学科の皆さんには、スタッフの一員として活躍していただきました。

今回の合宿を経て、ピザなし交流に参加された学生さんも多く、今後の活躍が期待されます。



根室の街も教材にとりあげられています

霧多布小学校の皆さん（H23. 9. 14）



霧多布小学校社会科見学で4年生24名が来館し、元島民である高橋専門員の講話や館内の資料などについて説明を受け、北方領土問題の歴史的背景などについて勉強しました。



絵本作家「関屋敏隆」さん（H23. 9. 16）

絵本作家 関屋敏隆さんが来館されました。「間宮林蔵の北方探検」をテーマとした関屋さんの絵本「まぼろしのデレン」は、当センターにも所蔵されており、だれでも閲覧可能です。今回は、新たな作品の取材ための来館ということでした。



黒部市 創作おんな太鼓「詩季訪」の皆さん（H23. 9. 17）

根室市と姉妹都市である黒部市から、親善文化交歓団として「創作おんな太鼓 詩季訪」の皆さんを中心とした訪問団（団長 中谷黒部市副市長）の7名が、さんま祭り会場での演奏を前に当センターを視察されました。

漁業や北方領土問題でもつながりの深い富山県からの来訪ということで、興味深く館内を見学されていました。



根室高等学校2年の皆さん（H23. 9. 20）

北海道根室高等学校2学年（普通科）の皆さん120名が「総合学習地歴公民・地域巡県検」の一項目として二・ホ・ロを視察しました。今回は「根室の行政・産業とその将来像」がテーマで根室の行政として重要な意味合いを持つ北方領土関係施設としての訪問です。

北方領土返還運動の原点の地の高校生として、次代を担う行動が期待されています。



霧多布高校の皆さん（H23. 9. 20）

「北方領土を目で見る運動」の一環で、北海道霧多布高等学校1学年の皆さん34名が二・ホ・ロにおいて、元島民の講話を聞くとともに館内の資料等について説明を受け、北方領土についての認識を深めました。根室市の隣町である浜中町からは、今年度、多くの学生が訪問しています。



厚岸の小学生の皆さん（H23. 9. 21）

千島歯舞諸島居住者連盟厚岸支部の事業「この目で見よう北方領土」で、厚岸町の小学5・6年生約200名が、バス7台で根室市を訪れ、二・ホ・ロと納沙布岬を視察しました。

子供たちは、説明員の館内説明に、とてもよく反応してくれました。



大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎の皆さん（H23. 10. 5）

「北方領土を目で見る運動」修学旅行誘致事業で、漁業体験や漁家へのホームステイなどをしながら北方領土についての研修をしている「大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎」の生徒24名が二・ホ・ロを見学しました。また、昨年、北方領土の出前講座で大阪に行った根室西高等学校の生徒から「ビザなし交流」の体験談を聞くなど、交流を深めていました。



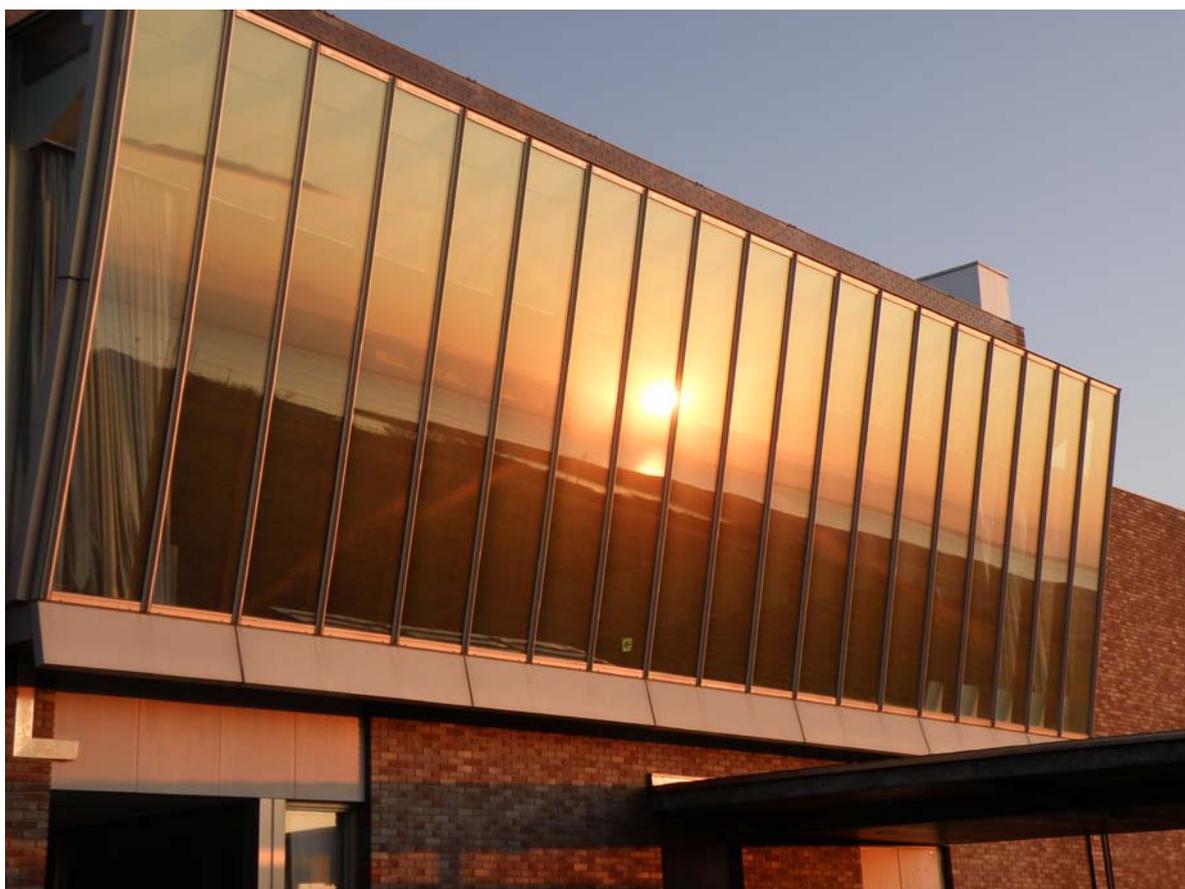
北方少年少女塾

根室管内の小中学校の児童生徒も北方領土返還運動の後継者として、熱心に勉強しています。学校での事前学習の成果や、取組の姿勢がよく現れており、皆さんメモをとったり、質問したりと一生懸命です。厚床小学校の校長先生による特別事前授業については新聞でも紹介されました。北方少年少女塾は11月まで続きます。

《9月15日 根室市共和小学校》 《9月28日 別海町立中央中学校》
《9月29日 根室市厚床小学校》 《9月30日 根室市花咲港小学校》
《10月4日 中標津町立東小学校》 《10月5日 根室市立北斗小学校》

【 二・ホ・ロでの学習風景 】





■ 11月から4月まで、「ニ・ホ・ロ」は毎週月曜日が休館となります。 ■

